



お住まいの地域のサービスやプログラムに関する情報および援助に関しては、  
1(800) 510-2020へお問い合わせください。

## 高齢者に役立つ情報

### 停電に備えて

洪水が発生しやすい地域にお住まいの場合は、

- ❖ マスコミの情報に注意して、洪水影響地域の最新情報を得ましょう。 電池で動くラジオと、余分の電池を常備しましょう。
- ❖ 停電になったら、一つの電灯を除き、全ての電化製品、コンピュータ、電灯を消します。 この電灯が点灯したら、停電が解除したことを知らせてくれます。
- ❖ すぐ手の届くところに、懐中電灯やランタンを予備の電池と共に常備しましょう。 手や腕の動きが制限されている方には、電池で点灯する安価なタッチランプがお勧めです。 タッチランプは家の中で頻繁に利用する場所に数箇所設置することができ、また十分小型なので、非常時に持ち運ぶことが出来ます。 ロウソクは、明かりや暖を取るために利用しないでください。 火災の原因となります。

- ❖ 10日間分の処方薬と耐久性のある医療品を用意し、便利な場所に保管しましょう。 同じ場所に、非常用連絡先と現在の処方箋の写しも保管します。
- ❖ 冷蔵庫と冷凍庫の扉は閉めた状態に保ちましょう。 冷蔵された食品は、数時間は食べても安全です。 冷凍食品は、長期間安全のはずです。 食品の安全性に疑問を感じたら、破棄しましょう。
- ❖ 自宅の電話は、どんな種類の電話なのか確認します。 コードレス電話ですと、停電時機能しません。 単に壁にコードを差し込むだけの、旧型の電話を利用できるようにしてください。 携帯電話や、近くの公衆電話を利用することも、一つの案です。
- ❖ 停電した場合の、ガレージドアの開け方を必ず把握しておきましょう。

## 電力稼動の呼吸器などの生命維持 医療装置に依存している場合は

- ❖ 医師やケースマネージャ、看護担当者と相談して、停電した場合の対策案を作成します。
- ❖ 必ず予備の電池や発電機を確保しましょう。
- ❖ 地元の電力会社と公安当局には前もって、停電により生命や安全性に即危険が及ぶことを連絡します。
- ❖ 緊急対応を円滑にするためにも、通りからはっきり自宅の番号が見えるようにしましょう。
- ❖ 自分や家族が、生命に関わる非常事態に面した場合は、911番に電話してください。

さらに情報が必要な場合は、  
地元の緊急業務局(Office of  
Emergency Services)にお問い合わせください。